

編集後記

●特集1の中で、教員と伝えずに不登校の子どもたちとかかわっていたのに、「先生でしょう」と当てられてしまったエピソードが紹介されています。「学校の先生は目が強い人が多いから、先生だってわかっちゃう」との指摘に、「全体をぼやあーっと見る」という目の使い方も覚えたといいます。スポーツでの直接視野と間接視野（周辺視野）の使い方に感覚が近いのかなと思いました。

●「女子グループのトラブルへの対応」の特集で、グループは彼女たちにとって大切な居場所であり、グループを解体しようとするのは居場所を奪うこと。居場所を奪われそうになれば誰だって抵抗するという指摘があり、なるほどと思いました。このことに配慮しながらどのように対応するか、特集2をお役立てください。

(こ)

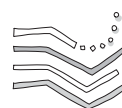
次号のお知らせ

特集 心のケアの準備

—どこでも起こり得る大災害に備えて

日本は地震の活動期に入ったと言われている。東日本大震災の哀しみが癒えぬ間に、熊本で大きな震災が起きました。テロなどの人為的な災害のリスクも高まっています。そして、大災害が起ると、教師は自分自身も被災しながら、様々な対応に忙殺されることになります。

10月号の特集では、災害はどこでも起こり得ることを前提に、「子どもたちの心のケアに対応するために、どんな準備をしておいたらいいのか」、具体的な資料を提供しながら考えていきます。



学校教育相談

2016年 平成28年 9月号

定価 800円 (本体 741円)

2016年9月1日発行

●発行所

ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <http://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所

●発行人 小林敏史


●印刷所 研友社印刷(株)

ほんの森掲示板



- ・7月増刊号の『アクティブラーニングを支えるカウンセリング24の基本スキル』(小林昭文/著)はいかがでしたか。構成的グループエンカウンターなどがお得意な先生には、子どもたちを交流させながら主体的な学び、協働的な学びを促進させ方法に自然になじめるのではないのでしょうか。また、アクティブラーニングでは「壇上の賢人から、学習者に寄り添う導き手へ」とよく言われます。まさに教育相談の出番ですね。この増刊号が単行本になりました(裏表紙の広告参照)。お知り合いにおすすめていただけますと幸いです。

- 本誌の2016年4月号からの1年間の誌代は12,080円(税込 増刊号2冊を含みます)。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円(3冊以上送料サービス)でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

-  **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている ☆詳しくは奥付を! 資料の文書ファイル(一太郎・ワード)をご希望の方は、小社ホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索